

「七十七キャピタル第2号投資事業有限責任組合」の投資実行について (エルピクセル株式会社)

株式会社七十七銀行(頭取 小林 英文)は、七十七キャピタル株式会社(社長 今野 晃)とともに組成した「七十七キャピタル第2号投資事業有限責任組合」(以下、「本ファンド」といいます。)から、エルピクセル株式会社(本社 東京都千代田区、代表取締役社長CEO 鎌田 富久、以下「対象企業」といいます。)に対する投資を実行いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

対象企業は、AIを用いた画像解析技術をライフサイエンス分野に応用し、X線・CT等の医療画像から病変が疑われる箇所を自動検出する画像診断支援AI「EIRL(エイル)」の開発・販売や、製薬会社・研究機関向けに研究・開発プロセスの効率化支援事業「IMACEL(イマセル)」を展開する東京大学発のベンチャー企業です。

EIRLは、医師の診断サポートを通じて、医療品質の更なる向上に寄与するプログラム医療機器です。これまでに、頭部・胸部・大腸を対象とする9製品が薬事承認・第三者認証を取得しており、大量の読影作業が必要となる大規模病院・健康診断施設に加え、読影を行う医師の数が限られている地域診療施設等、計1,000施設以上(2025年6月末時点、トライアルを含む)に導入されています。

IMACELは、創薬バリューチェーンの全プロセス(探索研究、前臨床・製剤研究、臨床治験、製造・販売)を対象に、AIによる効率化・課題解決を図る画像解析AIを提供しており、新薬早期導出等に貢献することが期待されます。

本ファンドは、AIプログラム医療機器を用いた新価値創造のフロントランナーである対象企業の事業を支援し、持続可能な社会の実現に向けて取り組んでまいります。

記

1. 投資先企業概要

- | | |
|-------------|-------------------|
| (1) 社 名 | エルピクセル株式会社 |
| (2) 本社所在地 | 東京都千代田区大手町一丁目6番1号 |
| (3) 代 表 者 | 代表取締役社長CEO 鎌田 富久 |
| (4) 設 立 | 2014年3月 |
| (5) 事 業 概 要 | AIプログラム医療機器の開発・販売 |

2. 投資概要

- | | |
|-----------|------------|
| (1) 投資手法 | 株 式 |
| (2) 投資金額 | 非公表 |
| (3) 投資実行日 | 2025年6月30日 |



七十七グループは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

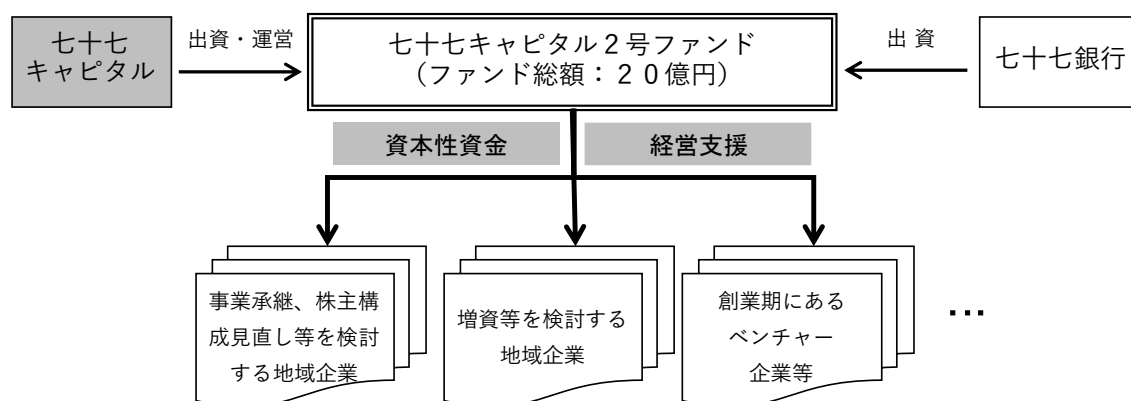
もっと、ずっと、地域と共に。

3. 「七十七キャピタル第2号投資事業有限責任組合」について

(1) ファンドの概要

正 式 名 称	七十七キャピタル第2号投資事業有限責任組合
設 立 日	2020年10月16日
規 模	20億円
出 資 者	無限責任組合員：七十七キャピタル株式会社、 有限責任組合員：当行
存 続 期 間	12年間

(2) イメージ図



以 上

(関連するSDGs)



SDGs (Sustainable Development Goals)

2015年9月に、国連に加盟する全ての国が全会一致で採択した国際目標であり、17のゴールと、169のターゲットから構成されています。

七十七グループは2020年7月に「七十七グループのSDGs宣言 〜もっと、ずっと、地域と共に。〜」を表明し、SDGsに対する取組みを更に強化するため、2021年10月より「SDGs実践計画」を策定しております。